



# 中立えこみ二通信

第 16 号

2024年5月 《発行》 中立エコ生活推進会議 議長 藤原 信生

## 堀川桜祭り開催

3月31日、堀川と堀川通りを美しくする会の主催で、第13回堀川桜祭りが開催されました。残念ながら桜は満開とはいきませんでしたでしたが、好天に恵まれ多くの方々が訪れてくださり賑やかなお祭りとなりました。中央にはステージが設けられ、歌やフラダンス、和太鼓など楽しい出し物がありました。中立学区も屋台を出店、骨付きウインナー、ビール等を販売し、好評で午後1時過ぎには完売しました。5箇所にゴミ箱を設置し、ゴミの分別回収を行いました。有り難いことに今回はほとんどの屋台で完売となる盛況ぶりです。午後3時半に無事に終了しました。これもひとえに、ご参加いただいた皆様のご理解とご協力の賜物と深謝いたします。



分別回収されたゴミ



大好評骨付きウインナー

## 桜覧会開催



来場者を笑顔で迎えます

3月29、30日の両日におたり、通称：みどり公園で、中立悠久クラブ主催の「桜覧会」が開催されました。雨と寒さが心配されましたが、当日はお天気も良く、暖かな日となり、一同安堵いたしました。



桜茶でほっこり

公園には、赤い毛氈を敷いた長椅子を置かせていただき、桜茶とすはま団子で一服していただきました。春を感じる演出に、お花見気分も盛り上がり、会話もはずみしました。

お帰りの際には、予約注文していただいた「お花見弁当」を、2日間で計156名の皆さんにお渡しいたしました。

## 第89回堀川清掃について

「中立堀川と堀川通りを美しくする会」では、下記の通り堀川の清掃を行いますのでご案内申し上げます。

どなたでもご参加できます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

記

日 時 令和6年5月19日(日)午前7時 午前6時現在雨天の場合中止  
 集合場所 みどり公園内 中立堀川と堀川通りを美しくする会  
 (中立売通小川角) 代表 辻井 啓三郎  
 清掃場所 戻橋～下長者町橋

## 上京親子ふれあい写生大会

日時 5月26日(日) 午前9時  
 場所 京都市動物園  
 参加対象者(上京区在住) 幼児・小学生・中学生・保護者  
 主催 上京子ども会 育成連絡協議会

# 京のこしかけ 置きベンチプロジェクト

今回は、ブライトンホテルのお向かいで「置きベンチ」にこしかけ、中立学区を見守ってくださっている「対話之町京都ヲ目指ス上京」の小畑章さんにお話を伺ってきました。

## 置きベンのきっかけ

小畑さんは、障害者就労継続B型事業所 Nest Lab Kyotoに「お話を聞く係」として利用者さんのお話を聞いていらしたのですが、2021年コロナ禍のとき「いつもお話を聞いてくださっているの、今度は小畑さんの困っているお話を聞いてあげよう。」ということになったそうです。話をしていく中で、「その島のひとたちは、ひとの話をきかない」(森川すいめい著)に出てくる一節「ただベンチを置けばいい(中略)ただベンチを置く。そうすることでひとが自然と集まるのだという。」がヒントになりました。その後、彼らが、プロジェクト名、ロゴ、置きベンの仕様も全て考えてくれました。そして、知り合いから使われなくなったベンチをお借りしてプロジェクトはスタートしました。

2021年9月にkbsラジオへの出演がきっかけで、急ピッチで進展していくこととなります。

①知り合いがラジオを聴いて飛んできて後押ししてくれた②材木屋を廃業した同級生が廃棄する板を持って来てくれた③近所の方がビール瓶のケースを無償で提供して下さることになった、そして、チラシに掲載されている現在の形の1号機が、2021年11月に誕生しました。



認知・拡散に大変役立っているチラシ



焼き印されたロゴ

## 変化していく置きベンチ



廃業するサーフボードを再利用した置きベンチ



火事で焼け残った木材を丁寧に磨いて使用している置きベンチ

## 拡散・拡大していく置きベンチ

現在、広い範囲で認知されている置きベンチですが、最初から好意的に受け入れられたわけではありませんでした。ベンチを置くことに対して、懐疑的な意見もあったようです。

まず最初に子ども達が集ってくれました。子ども達には先入観がありません。「通学路にベンチがあったので使ってみた」ということです。また、ホワイトボードを設置すると、子どもだけではなく、大人の方もメッセージを残して下さるようになりました。本も置くと、借りていかれる方もあれば、反対に本を置いていかれる方もあるそうです。ベンチに座っていると、挨拶をしてくださったり、時には、お話をしてくださったりすることもあります。取材中もイベントへ向かわれる途中でうっかり立ち寄られた方が、焼きバナナをふるまって下さいました。

まさにヒントとなった本に書かれているように、ベンチを置くことにより様々なつながりが自然と生まれていっているようです。

置きベンチは、必要とされればどこにでも出かけていきます。一緒に置きベンチを作ることもあれば、庭でのイベントなどで置きベンチが必要なときにそこに出向いていくこともあります。必要とされている場所で、その役割を果たしつつあるようです。

## 置きベンチのこれから

小畑さんは「周りの方の善意で進んでいる。何かをしようという意図はない。しかし、自然と物事は進んでいき、広がりを見せてくれている。これからも、ここから始まるいろいろなことを、何もコントロールせずに静かに見守っていきたい。」とお話してくださいました。私たちも、ベンチにこしかけながら、小畑さんと一緒に地域のこれからの見守っていきたいと思います。



ホワイトボード



作成設置された本棚



焼きバナナ調理中



中立会館前の置きベンチ